４月９日【軽食の提供へ】

緊急事態宣言により、藤沢市でも休校期間が延長され、希望者への給食の提供も無しになりました。
けれども、必要な子ども、家庭への軽食の提供お持ち帰り方式という形で教育委員会の対応はゼロとはなりませんでした！

この状況下で、市役所の中で相当な議論が交わされ少しでも役割を果たそうとするカタチになったことを嬉しく思います。

ただ、校庭の開放は見送られるなど、課題はまだまだあります。
国からも示されたように、緊急事態であろうとも、散歩や体を動かすことはむしろ必要とされていますが、恐らく多くの子どもが引きこもり、免疫力の低下が心配されます。
問題は、公園で遊ぶ子どもたちへの苦情が市役所に入ってくるなど、市民の無理解が足かせとなっている事です。

子どもの居場所としての必要性とリスク、どのようにバランスを取るか…明日の寺子屋ハウスでは子どもたちの意見も聞いて今後について考えたいと思います。